

## ～あなたの歯は平均より多く 少 残っていますか?～

表1は厚生労働省が行っている歯科疾患実態調査\*で、年代別に歯を失った本数の一人平均を集計したものです。

年齢とともに歯を失う本数が増え、65～69歳では約7.2本、永久歯の本数は28本(親知らずを除く)なので約1/4を失っていることがわかります。

歯を失った部分には、ブリッジや入れ歯などが必要になります。表2は、歯を失った部分にブリッジ・部分入れ歯・総入れ歯を入れている割合を年代別に集計したものです。

60～64歳で4人に1人の方が部分入れ歯を入れ、70～74歳では4人に1人の方が総入れ歯を入れていることがわかります。

表1の平成17年の統計に比べると、歯を失うペースは改善しています。毎日の歯磨きと定期的な健診で出来る限り天然の歯を残しましょう。

\*歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に、6年ごとに厚生労働省が実施している。

表1 1人平均の歯を失っている本数

年齢	H17年	H23年
40～44	1.4	0.9
45～49	2.3	1.5
50～54	3.7	2.6
55～59	5.0	4.1
60～64	7.1	5.9
<b>65～69</b>	<b>10.1</b>	<b>7.2</b>
70～74	13.1	11.0
75～79	17.6	12.7
80～84	19.3	16.1
85～	22.0	19.7

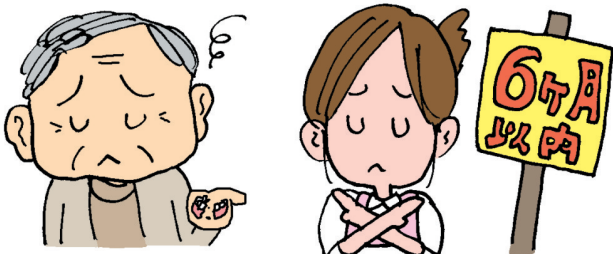
表2 入れ歯などをつけている人の割合

年齢	割合		
	ブリッジ	部分入れ歯	総入れ歯
40～44	18.5	1.3	—
45～49	22.4	2.9	1.0
50～54	38.9	8.9	1.2
55～59	48.3	17.1	1.4
<b>60～64</b>	<b>53.6</b>	<b>24.3%</b>	5.2
65～69	49.4	36.2	8.9
<b>70～74</b>	<b>48.2</b>	<b>41.9</b>	<b>24.3%</b>
75～79	46.5	46.2	28.8
80～84	34.7	52.0	42.7
85～	28.3	43.4	52.8

## 歯のQ&A [入れ歯編]

**Q** 2か月前に作った入れ歯を孫が壊しました。新しく作ることはできますか?

**A** 保険の入れ歯は新しく作ってから、その後6ヶ月間は新たに保険で作ることはできません。他の歯科医院に行っても6カ月以内は保険で作れません。紛失したり修理ができないほど壊れたなど、どうしても6か月以内に新しく作り直すことになった場合は全額自費で作ることになります。そうならないためにも、新しく作ったら正しいお手入れを行い大切に保管しましょう。



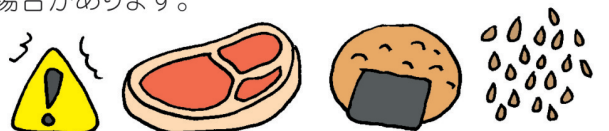
**Q** 入れ歯でも今まで通り食事できますか?

**A** 図のように入れ歯は天然の歯に比べると噛む力が低下します。



噛む力が低下すると、食べ物を噛み砕いたり、噛み切るのに時間がかかります。

お肉や繊維質の多い食べ物は切れ目を入れるなど調理の工夫が必要です。せんべいやゴマなどは、入れ歯と歯ぐきの間に小さくて硬い物が挟まり痛くなる場合があります。



特に入れ歯がはじめての場合は、柔らかい物や小さく切った物から食べ始め、入れ歯での食事に慣れることも必要です。